



愛知県
板金工業組合

名古屋市昭和区
北山町3-8-6
電話732-1226
発行 広報委員会

中部板金工業組合協議会
第五回総代会開催

日比野理事長副会長に再選さる

中板協第5回総代会は六月十六日午後一時より富山市新桜町富山第一ホテルホールにおいて開催された。

当愛知県板からは日比野理事長以下一〇名が参加、総数四七名(中二名委任状)の総代全員が出席し提出議案の審議がなされた。

承認の件
第二号議案 昭和58年度事業計画ならびに昭和58年度予算案審議の件
第三号議案 役員改選の件
第四号議案 その他の件

以上の審議の結果、原案通り承認可決された。



鉄骨建築に...
富士波ラスシート
東邦シート・フィルム鉄
名古屋営業所 電話〇四四一

役員改選につき本県板関係者次の通り。
副会長 日比野定雄
理事 樽井 神夫
理事 高柳丑五郎
なお協会会長には全板理事長若林忠夫氏が再任された。

責任施工・保証制度推進の進捗状況について
去る5月24日開催の全国大会の席上、建設省の西田振興課長は挨拶の中で、業界が全国組織で取り組んでいる責任施工制度について建設省としても全面的に協力する旨を述べその発足の早期実現を要望されている。

また全板連が保証問題に取り組みに当たって法的裏付けを取りつけるため、全国中小企業団体中央会を通じて中小企業庁に再三請願した結果、中小企業団体に関する法律の中に、保証に関する条項を組み込むべく目下同庁に於て検討されているので、早ければ来年3月

頃には法改訂の運びとなることが予測される。一方業界の中では当問題実現への態勢づくりとしては中部ブロックが一番進んでいるがさらに58年度はこれを最大の事業として強力に推進すべきであると考えられる。このため技術講習等への積極的な参加や勉強を重ねた上、全員がこれらの制度の恩恵を受けられるよう、また非会員業者の総て組合加入を希望するような強固な組織づくりこそが最大の目標である。

さらに本年四月に建設省より公表された積算の要領について、すでに各県理事長が研究を進めているが、これまでによう不明確な井勘定式のものでなく適確な算定方式によって算出されなければならぬ。単価または原価算出の根拠が妥当であることを誰しもが認め得るものであり、板金業者として確信をも

つて、要求できるだけの力をつけていかねばならない。積算基準の説明会が建設省において行われるがこれを通して、十分に研究し、さらに地域差といった点も考慮しながら方程式を求めていきたい。ついで昭和60年に日本で開催を予定されている技能オリンピックに板金の種目を加えて大いに建築板金業界をPRしたい。すでに労働者においても検討されていることでもあり、業界自体のレベルアップにつながるので、本年からその準備に着手していききたい。

一級技能士研修や技術検定に加えて、目下建設省で推進されている施工管理技士制度に板金業としても加わるべく対応策を構じる必要が生じている。このため労働省主管である一級技能士を生かすための研修と施工管理者教育を充実して建設省の施工管理士制度に連動していくことが本年度の大きな課題といえよう。

以上を中部ブロックにおける最重要事業として推進するために一層の研鑽と協力を要望する次第である。

「塩ビ雨どい講習会10月以降開催」

昨年度講習の未受講者中約三五〇名を対象に、塩ビ雨どい標準施工法普及講習会を次の通り開催する予定です。

時期 10月以降
内容

- ① 製法と特長及び取扱上の留意点
 - ② JIS規格雨どい
 - ③ 雨どいの排水計算
 - ④ 雨どいの施工標準
 - ⑤ 質疑応答
- 受講申込 7月31日
参加費 五〇〇〇円
協和銀行滝子支店
普通預金
No.三一〇四七七

専門部会が活動開始!!

58年度事業の実質的推進を審議

全板連をはじめとする指導機関や関連団体の主要行事もほとんど終了して、県板においては新年度事業の完全遂行を目指して各専門委員会ごとの具体的な作業がはじめられた。

業界をとりまく経済情勢はいよいよ厳しいものがあり、これを打破し、永続的に事業を展開していくために互いに役割を分担することになり立っている専門委員会の責任はますます重大である。事業活動推進の実質的中核である専門部会が業界発展向上にとって大きな役割を果たすだけでなく、経営改善普及事業に積極的に参画してゆく場としての位置づけが必要であり、そのことは対外信用上からも大切であるといえよう。

5月以降開催された委員会の内容は次の通りである。

☆検定委員会(6・2)
58年前期技能検定試験は9月4日(日)
内外装—岡崎訓練校

ダクト—名古屋訓練校にてそれぞれ実施。合格発表は10月3日。

延受験者数 一二一名
なお検定試験に先立って受験者のための講習会を次の通り実施いたします。

ダクト板金部門

7月24日(日)・8月2日(火)の両日。(いずれか希望する日)
場所 県板金会館
時間 9時~16時
受講申込 7月10日
参加費・テキスト代等は無料。なお会場にて問題集等の参考書を実費販売いたします。

内外装板金部門
8月中に県内各ブロック別に開催の予定。詳細はおつてご案内します。

☆指導委員会(6・7)
☆総務委員会(6・11)
審議事項 ①総代会の反省点として、画一的な形式にとらわれず、バラエティ性のある魅力ある会合にする。

②全国板金業者大会

の収支報告のあと、参加費の超過納入額を七月中に還付することを確認。

③旧文(空文)化せしと改廃を行い組合会計の明朗化に努める。7月下旬開催予定の理事會に改訂案を上呈する。以上

☆保証委員会(6・21)

本年10月から発足が予定されている責任施工・保証制度については業界規模による体制づくりとして当年度の最重要目標にか、げられていくが、そのための基準である県板組合監修にかゝる「屋根工事共同保証事業規約」の内容が、発刊当初から現在に至る間に幾多の変遷を重ねている結果、補正する必要があるとされている。そのため山田委員長が中心となつて、早急に板金以外の屋根材等に関する資料を収集し再検討の結果規約の改訂作業を急ぐことになった。

☆広報委員会(5・30)
5月発行の163号から従来の活字より一廻り大きい9ポイント活字を使用することになったが、そのことによる紙面効果について検討

《座談会》

住宅用銅屋根標準構法 全国講習会を終えて

銅No.三九より

銅へ向かう潮時に マッチした講習会

司會 本日はご多忙のところをお集まりいただきありがとうございます。住宅用銅屋根標準構法の講習会も皆様のご協力で、とりあえず第一段階の過程を終了致しました。そこで本日は、この講習会の成果や今後の問題などについてお話を承りたいと思っております。私どもでは昭和52年頃から、銅板を建築の分野に広く利用してもらうために、まず屋根用銅板の普及について検討致しまして、約三カ年をかけて「一般住宅用銅屋根標準構法」を作成しました。そして、この資料を活用して全日本板金工業組合連合会(以下、全板連と略す)との共催によ

した。なお内容についても更に充実を図るため中日新聞社指導による「新聞編集の心得」をテキストとして編集マンとしての基本を学び合った。

る全国講習会をスタートさせていたのですが、開催に際しましては、中野副理事長に何かと御尽力いただきましてありがとうございました。また、当時、全板連の指導委員会委員長として全体のまとめに当たっていたのが中俣さんですが、中俣さんの地元・鹿児島県は、石川県と共に講習会のトッ

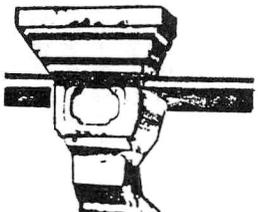
プバッターを務められたわけで、何事も最初がむづかしいとよく言われておりますから、まず中俣さんからお話いただきたいと思っております。

た。というのは、われわれ本部としては最低必要な構法を理解してもらいたい。そういう主旨で「標準」という意味もそういうところから出たわけですが、最も高い技術を学ぶという気持ちで来られたわけですから、そのずれが最後まで尾を引いていたというのが、トレーナー研修を通じての雰囲気だったように思います。

中俣 全国講習会を前に、標準構法を説明するトレーナー研修がありましたね。あの時に、全板連本部の方の気持ちと研修参加者と大分ずれがございました。

安田金属株式会社
静岡支店
静岡市中島742番地
電話 静岡 0542(83) 4088(代)

全日本板金工業組合連合会指定商品
カラー組立雨樋
長尺銅製雨樋鳳凰



カオス

愛知県美術館西の『チカシン』で、又岡崎は本町の画廊『ラ・ポーラ』で久しぶりに彫金・鍛金で有名な、カオス展が開かれ同業有志で参観できたので紹介しましょう。

そもそも「カオス」とは宇宙のできる前の時代をいいその事に熱中して居られる鬼頭正信先生の力作にふれた。日展作家でその入選すること数回に及び、その作品の奇想天外な構想におどろいた。

今にも大きな口を開けてがぶり妖怪が獲物を狙う姿、ちよつとなぜたら目をさまし踊り出すような越後獅子、又 生諸侯の熱のこもった作品にふれ感動した。特に銅板彫金は金・銀をはめこみ色付もよい。花差・ブローチ・皿・動植物等しばし作



品の前に座りこみ、じつと見とれる人ばかり、ことにわが板金界の大御所で銅板講習会でおなじみの山本文板金店・山本文一社長の出品作は一きわ目立つ大型作品で、人物あり動物ありの中で特にしほり打出物の本人彫像の横顔の見事なでき栄えに驚かされた。さすが十有余年の実績とご精進に敬意を表した次第である。本人に色々聞くとその苦労話のなかに「絵をかくてはだつと勉強しなくてはだめだ」と聞き、なるほどとその道も仲々「重

荷を背負って遠い道を行くが如し」……
岡崎 清水 功

愛の献血

知多支部 献血グループ

五十八年度支部の年中行事の一つとしての献血が、六月二十五日土曜日午後二時より武豊屋株式会社に於て行われました。

支部の献血行事も早や十一年目となりましたが、毎年担当理事が一人でも多く参加されるように組合員にお願いして居りますが、仲々参加者が少く、献血行事もなくなりはしないかと心配して居ります。

本年度は参加者に記念品と、二千万円当る宝くじを出しましたが効果もなく残念でした。来年度からは組合員の皆様、事業においてそがしい事とは思いますが、多数の御協力をお願い致します。

知多支部の事業として本年度は、運動会を行うことになりました。
・予定日 九月二十五日(日)
・場所 花園グラウンド
~~~~~



## 健康第一

### 大腸がん

#### 出血に要注意

欧米人に多くみられた「大腸がん」が、食生活の変化とともに、日本人も目立って増えしてきた。

「大腸がん」も「胃がん」と同じように、早期のうちは無症状である。しかし胃がん検査ほどひろくX線検査や内視鏡検査がやられていない。

検査が肛門からバリウムを入れてX線写真をとったり、内視鏡を入れたりするのだから

きが異常に。そのため下痢、便秘、粘膜便が出る。

③ がんのため大腸がまつたりするため、腹痛や便秘、おなかが張ったり、鳴ったりする。

④ 腹膜転移などによる部分的な腹痛。

⑤ 食欲不振、発熱、体重減少など。

大腸がんは、胃がんに比べて手術、切除後の生存率が比較的良好だからこそ、症状に少しでも気がついたら積極的に受診することが大切だ。

腹部触診で、大腸がんのしこりがみつかるとも多い。しかし、この前に便通異常があるものだ。

まして血便が出たときは要注意である。

医師は、まず「痔」からの出血と区別し、痔でなければ、さらにバリウムを肛門から入れて大腸のX線撮影と内視鏡の検査をすすめるはずである。

(北病院外科 星野医長)

6月16・18日 中板協総代会 日比野理事

長以下総代理理事10名参加。

6月17・18日 愛知県中央会主催経営セミナー 荘司出席

6月18・19日 熱田南支部総会 三河吉良町にて 荘司参加

6月22日 愛知県中央会青年部総会 鈴木青年部長出席

6月23日 県板技能士役員会 日比野理事

長、荘司出席

6月26日 全板青年部総会(役員会併催)

高柳、鈴木両氏参加

編集後記

参院選挙も終り、各党新勢力分野が決つた。しかし最後まで盛上りのとはしいうらや選挙ではなかつたらうか；

史上最低の投票率で安定多数議席を獲得した、自民党、中曽根内閣、これで信任されたと思うのは早計ではなからうか。

今後所得減税をエサに大型間接税の導入、防衛費の拡大、福祉きりすて等、タカ派的動向が強まると思うが、我々板金業者も注意して見守って行かなければと思う。

六月二十九日(水)曇

一六四号編集会議

午後五時三十分終了(S)